

東京逶信病院

課題

1 : 顔の見える関係作り

2 : 身寄りのない、高齢、キーパーソン不在の患者の支援

どのような地域を目指すのか？

1：風通しの良い、顔の見える地域連携

2：誰でも自分が望む場所で、安心して最後まで過ごせる地域

具体的な取り組み

1 : 顔の見える関係作り

1 地域交流会

専門家によるレクチャー（口腔ケア・ACPなど）と交流会 2回 / 年

近隣の訪問看護ステーション、地域包括センター

2 訪問活動

誰が：医師、看護師、MSW

どこへ：地域の連携施設へ、往診先、紹介元の医師

何を：緩和ケア病棟、緩和ケアチームの説明

3 ケースカンファ

地域とのデスカンファ

4 薬薬連携 保険薬局との連携 患者情報

具体的な取り組み

2：身寄りのない、高齢、キーパーソン不在の患者の支援

- ・早い段階（情報を得られ次第）で地域と情報共有を行う

ケアマネ、地域包括センター、行政などを含めて関わる

- ・地域の情報（リソース、担当者、お金、成年後見人）をどこから得られるのか把握する

区によって違いがある

実施時期

- 1 交流会 今年度中
- 2 訪問活動 今年度中 5箇所 1回 / 月
- 3 ケースカンファ 年度内1件
- 4 薬薬連携 10件 / 月
- 5 地域の情報（リソース）を一覧にする 今年度中
- 6 地域において困っている事例・事象を拾いあげる